

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【さいたま市立常盤小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

次年度に向けて
(3月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p><学習上の課題> 基礎的・基本的な学力は全体的に定着しているもの、国語の主語・述語の即応関係は多くの学年で課題がみられた。</p> <p><指導上の課題> 定着度に個人差があり、児童個々への対応を効果的に進め、定着度の差をできるだけ少なくしていく必要がある。</p>	<p>⇒ スクールダッシュボードの学習履歴を活用したり、SA等による個別指導を行ったりするなど、学習の個別最適化を図る。【1回以上指導方針を確認】</p> <p>⇒ スタディサプリやドリルパークなどを活用し、課題に関連した問題に繰り返し取り組む機会を設ける。【業前学習、家庭学習等で実施】</p> <p>⇒ 単元ごとに小論文に取り組ませ、その単元での学習を振り返り、内容の定着を図る。【各教科の単元ごとに実施】</p>
思考・判断・表現	<p><学習上の課題> 基礎的・基本的な学力は全体的に定着しているもの、算数では、適切なグラフの選択や単位あたりの大きさを比較する際の立式等、根拠を明確にすることに課題がみられた。</p> <p><指導上の課題> 内容を直接学習する単元が少なく、繰り返し取り組み思考を深める機会が不足している。</p>	<p>⇒ 算数では、問題の立式に際して数量を吟味・検討し、妥当性を確認する活動を取り入れるなど、常に課題を意識した学習過程を組み込む。【授業毎に設定】</p> <p>⇒ 他教科でグラフを取り扱う際に、読み取り方のポイントを示すなど、視覚情報から多面的に思考できるようにする。【関連教科で実施】</p> <p>⇒ ICTの利活用を進め、協働学習を通じた「本気の学び」を引き出す授業を展開し、児童一人ひとりの思考を深化させる。【授業毎に実施】</p>

全国学力・学習状況調査
<小6・中3> (4月~5月)

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		<p>①結果分析(管理職・学年主任等)</p> <p>②詳細分析(学年・教科担当)</p> <p>③分析共有(児童生徒の実態把握)</p> <p>職員会議・校内研修等</p>
思考・判断・表現		

結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		<p>①児童生徒による振り返り</p> <p>②調査問題の解説</p> <p>③振り返りの終了報告</p>
思考・判断・表現		

結果提供(7月)

調査結果分析(7~8月)

①結果分析(管理職・学年主任等)

②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)